

6月24日、徳島グランヴィリオホテルで第54年度通常総代会を開き、491人（本人出席131人、書面議決359人、委任状1人）が出席しました。

開会にあたり、松田組合長は、「昨年より、農業生産資材やエネルギー価格が高騰する一方、生産コスト増加分の価格転嫁が進まず、農家組合員は今までに厳しい農業経営を強いられております。このような状況を踏まえ、JAグループ徳島では、『国産農畜産物の再生産価格』の実現に向けて国・県行政に訴えかけるとともに、



第54年度 通常総代会

国民の理解醸成に向けた広報活動等の取り組み強化を進めております。

署名活動につきましては努力目標の7,000名を達成し、6月19日現在で8,000名を上回っております。誠にありがとうございます。新聞によりますと、『国産農畜産物の再生産価格の実現』について、政府は『適正な価格形成』を目玉とした『食料・農業・農村基本法』の見直しを示し、価格を市場に委ねた現行基本法から一転、価格形成の在り方に踏み込み、法律に基づき適正化に向けた取り組みを始めるというのですが、公正取引委員会との調整など課題はまだ多く、難航が予測されています。

しかしながら、署名活動を通じて多くの皆様方に声を上げて頂き、何としても法制化を実現したいと考えております。一方、肥料価格等の高騰対策としては、肥料価格等高騰対策に取り組み、秋肥分として、国・県の高騰対策では合計で約900名の組合員を対象に4千万円程の支援金の支出に取り組み、市の高騰対策では約1,000名の組合員を対象に1億3千万円の支援金の支出に取り組みました。また、JA独自の肥料高騰対策としては、JA徳島市が全国トップを切って対策を講じ、約1,000名を対象に約2,600万円のご支援をさせて頂きました。

また、6月からは電力料金改定でさらなる農業経営の圧迫が予測されますので、少しでも安価な『JAでんき』をご利用して頂きたいと考えています。今後も厳しい状況が続くと見込まれますが、JA徳島市はあらゆる対策を講じて農家組合員をご支援し、安心して農業が続けられるよう取り組んで参ります。

JAを取り巻く環境は厳しさを増す中、令和4年度決算は、農家組合員皆様のご理解ご協力のもと自己改革に取り組み、約4億7千万円の剰余金を挙続することができました。誠にありがとうございます。改革は進行中であり、今年度以降も継続致しますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

剰余金処分につきましては、昨年度と同じ割合の出資配当をご提案させて頂きますので、よろしくお願ひ申し上げます。

損益計算書

(単位：千円)

科 目	令和4年度 (実績)	令和5年度 (計画)
1. 事業総利益	2,430,346	2,315,000
信用事業総利益	1,170,616	1,060,000
共済事業総利益	505,314	480,000
購買事業総利益	362,601	346,000
販売事業総利益	354,987	352,000
その他の事業総利益	38,090	79,200
指導事業収支差額	△ 1,263	△ 2,200
2. 事業管理費	1,958,256	2,063,500
3. 事業利益	472,090	251,500
4. 経常利益	610,799	381,500
5. 税引前当期利益	△ 84,769	379,500
6. 当期剰余金	△ 28,355	287,500
7. 当期末処分剰余金	868,621	

剰余金処分案

(単位：千円)

科 目	令和4年度 (実績)
1. 当期末処分剰余金	868,621
2. 剰余金処分量	368,621
(1) 任意積立金	328,372
① 信用事業基盤強化積立金	153,372
② 施設整備積立金	50,000
③ 経営安定対策積立金	125,000
(3) 出資配当金	40,248
3. 次期繰越剰余金	500,000

(注) 1. 出資配当金は年1%の割合です。
ただし、年度内の増資及び新規加入については日割り計算となります。
2. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第54年度決算報告

今年度から第7次中期経営計画がスタート致します。将来ビジョンを『10年後も日常の暮らしに安心と豊かさを』とし、組合員皆様とともに歩み、地域に愛されるJAを目指し、役員一丸となって邁進して参りますので、なお一層のご協力をお願い申し上げます。(一部省略)と挨拶しました。

勝占区域の田中稔氏が議長として議事進行を務め、令和4年度事業報告や令和5年度事業計画など提出議案及び附帯決議案が全て原案通り承認されました。

赤シソ ユガネムシ対策にフェロモントラップを設置

多家長支所シソ部会の生産者は、6月中旬よりユガネムシの発生消長を解明することを目的に、県の「園芸産地リノベーション事業」を活用し、フェロモントラップを設置しています。

今後、毎週1回の調査を実施し、防除適期を検討していきます。

また、肥料高騰が続く中、化学肥料使用量の低減、さらに作業省力化を図るため、被覆肥料による施肥試験を実施し、効果を検証します。施肥回数は、これまでの6回から4回へ削減し、出荷量は過去3年平均の80%から85%（栽培面積約600㌥）への増加を目指します。多家長支所シソ部会須賀勝弘部会長は、「販売先との信頼関係においては、出荷物のユガネムシの被害は致命的。適期防除を試験で編み出し、品質を維持し、さらに収量・作業効率向上に努めたい。」と話しています。

【写真は、フェロモントラップを設置する須賀部会長】



枝澤憲治さんが最優秀経営者・農林水産大臣賞を受賞



▲写真は、後藤田知事④より表彰状を受けた枝澤さん⑤

6月28日、農林漁業優秀経営者選定事業表彰式が徳島県庁で開催され、最優秀経営者・農林水産大臣賞に選ばれた「野菜園芸部門」の徳島市のレンコン農家・枝澤憲治さん(69)に後藤田正純知事より表彰状が贈られました。枝澤さんは、就農して44年。新品種を積極的に導入し、地域適性を検討するとともにハウスレンコンの面積拡大に取り組んでいることが評価されました。また、東部営農経済センター川内れんこん部会では、後継者の育成にも尽力しています。枝澤さんは、「妻や家族、JA・市場担当者等、取り巻くすべての皆様と一緒に受賞できたものだと思います。また皆様からの大きなご褒美として、今後も農業に励みたい」と話しました。

さらに、優秀経営者・知事賞として「水産部門」で小松秀基さん(徳島市)が受賞をうけました。後藤田知事は「皆様の益々の活躍に期待しています。近年の燃油価格・資材高騰、担い手不足等の課題に対し、異次元の対応で皆様を支えるために尽力していきます。」と話しました。

JA徳島市と佐那河内村が協定締結 さらなる農業振興と地域貢献へ



6月5日、JA徳島市と佐那河内村は「農業振興と地域貢献に係る協定」を締結し、村役場にて調印を行いました。目的は、地域農業の振興、地域貢献に関する情報・意見交換に努め、「農業立村」をうたう佐那河内村の発展に寄与し、当JAと村が相互に連携し、地方創生の推進を図っていくこととしています。

これまで、当JAと村では、様々な事業を展開しており、「佐那河内村農業再生協議会」、ブランドいちご「さくらもいちご」を栽培する農業者を地域おこし協力隊として迎え入れ、育成する「佐那のいちご塾」などを展開する他、村の防災無線のサブ拠点の役割も、当JAが担っています。南海トラフ地震発生時には、村の主要道路が閉鎖されることが予測されるため、果樹選果場を災害時における拠点、及び冷蔵すだち共同冷蔵施設を救援物資の冷蔵保管庫、施設を防災拠点として活用します。

岩城福治村長は、「JAと協力し合い、農業の後継者不足、耕作放棄地、鳥獣害被害等、農業の様々な課題への取り組みを推し進めていきたい。」と話し、松田清見組合長は、「地域と農業の活性化を目指す中で、行政と協力することで、農業者へのより幅広い支援を実現したい。」と話しました。

◀写真は、調印後の松田組合長⑥と岩城村長⑦

令和5年度 共済進発式



6月16日、徳島支所にて北部ブロック共済進発式が、6月19日に眉山支所にて南部ブロック共済進発式が開催されました。式では、令和5年度共済推進要領、共済キャンペーンについて協議が行われました。また、各代表JAにより、「お客様のニーズにあった柔軟な総合保障を提供することで、利用者満足度の向上に努めるとともに、お客様に寄り添った“問題解決型推進”を実践し、組合員・地域の皆様に選ばれ、愛されるJA徳島市を目指します。」と力強く決意表明が行われ、皆でガンパロー三唱をしました。

応神小学校 田植え学習



6月8日、応神事務所管内 新聞英実さんの水田で、応神小学校の全校生徒が交代制で田植えを行いました。苗を植える間隔の目印が付いた「田植え綱」に沿って児童が並び、一生懸命に作業をしました。9月に稲刈りを行う予定です。

ハウスみかん出荷スタート



6月16日、ハウスみかんの初出荷があり、中央集出荷場で目慣らし会が開かれました。今年も品質は良好です。出荷のピークは8月～9月の予定です。

徳島農業支援センターより



徳島農業支援センター
所長 兼市 良徳

日頃は、農業支援センターの活動に御支援、御協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、令和5年6月の定期異動により新たに6名を迎え17人体制で、力強い産地の形成や地域農業を支える担い手の育成といった課題解決に取り組むこととしています。

ご承知のとおり、人口減少に伴う市場の縮小や農産物価格の低迷、生産者の減少・高齢化の進展に加え、依然として、原油価格や資材の高騰、高止まりが続いており、生産者の多くの方々は、経営の継続に大きな不安を

抱えています。また、3年にもわたる新型コロナウイルス感染症は「5類感染症」に位置づけられ、アフターコロナに向け新たな局面を迎えています。

こうした中、農業支援センターでは、農業の振興、発展に向けて、①なる和金時やブロッコリーなど地域の特性を活かした産地づくり、②次代を担う青年・女性農業者など農業を支える担い手の確保、③れんこんやすだちなど環境負荷低減による持続可能な農業の推進、④施設園芸への高度環境制御技術の普及などスマート農業技術の実装に、重点的に取り組みたいと考えております。さらに、JA、徳島市、佐那河内村と連携を図り、皆様の支援に務めてまいりますので、御理解と御協力を引き続きお願い致します。

令和5年度 徳島農業支援センターの新体制

所長 兼市 良徳
徳島農業支援センター
の総括

課長補佐 東條 浩章
担当業務

- ・協同農業普及事業等普及関連施策に関する事
- ・補助事業並びに施策の総括に関する事

主査兼係長 福井 奈都子

担当業務

- ・農業士に関する事
 - ・認定農業者の育成に関する事
 - ・担い手関係国補事業に関する事(新規就農者関係事業を除く)
- 担当品目 つるむらさき、ふき

主任主事 中島 聡志

担当業務

- ・強い農業づくり総合支援交付金等国補事業に関する事
 - ・農山漁村未来創造事業に関する事
- 担当品目 スイートコーン

農業支援第一担当

主査兼係長 杉本 和之

担当業務

- ・農業経営基盤強化促進法に関する事(担い手関係を除く)
 - ・経営所得安定対策に関する事
- 担当品目 きゅうり

主事 大曲 未紗

担当業務

- ・女性農業者の育成に関する事
 - ・みどりの食料システム戦略(グリーンな栽培関係)事業に関する事
 - ・GAPの推進に関する事
- 担当品目 花き

課長補佐 磯口 雅昭

担当業務

- ・農山漁村振興交付金に関する事
 - ・地産地消・食育に関する事
- 担当品目 カリフラワー、おくら

主席 谷口 安孝

担当業務

- ・新規就農者育成総合対策に関する事
- ・農業経営者サポート事業に関する事

主事 三浦 智也

担当業務

- ・新規就農者の育成に関する事
 - ・青年農業者の育成に関する事
- 担当品目 ねぎ、じゃがいも

主査兼係長 山下 浩

担当業務

- ・環境保全直接支払事業に関する事
 - ・野生鳥獣による農作物被害の防止対策に関する事
- 担当品目 赤しそ

主任 大西 祐子

担当業務

- ・6次産業化の推進に関する事
 - ・食品表示・食品衛生に関する事
- 担当品目 常緑果樹(すだち、ゆず、ゆこうを除く)

徳島ブランド推進担当

課長補佐 佐藤 章裕

担当業務

- ・みどりの食料システム戦略(れんこん)事業に関する事
- ・農作物の災害対策に関する事

担当品目 れんこん、ブロッコリー、カリフラワー、トマト、ピーマン類

課長補佐 福田 雅仁

担当業務

- ・香酸かんきつ等の輸出に関する事
- ・スマート農業の推進に関する事

担当品目 落葉果樹、すだち、ゆず・ゆこう

主席 北岡 祥治

担当業務

- ・農業機械・農作業安全に関する事
- ・使用済み農業資材の適正処理対策に関する事

担当品目 かんしょ、だいこん、洋にんじん、なのはな、山椒

主任主事 七條 智咲

担当業務

- ・肥料展示ほに関する事
 - ・家畜防疫対策に関する事
- 担当品目 葉わさび、畜産

主任主事 小林 浩平

担当業務

- ・農業気象情報に関する事
 - ・農業展示ほに関する事
- 担当品目 えだまめ、なす、ほうれんそう、こまつな

主事 岡田 尚樹

担当業務

- ・地力診断に関する事
 - ・新たな米づくり展開事業に関する事
 - ・農福連携に関する事
- 担当品目 水稲、いちご、たまねぎ

専門知識を活かして 営農経済指導渉外×農業アドバイザー



▲写真は、坂本正栄さん⑥の圃場で除草剤の情報を伝える三原清人アドバイザー⑥と、柴谷林果営農経済指導渉外⑥

J A徳島市では他事業所や自治体で、営農・指導業務に長年携わった人材を専門員として雇用し、組合員のサポート体制の強化を図っています。専門員は、管内12名の営農経済指導渉外に必要なに応じて同行し、生産者の相談に応じています。今年度からは、農業を専門とするアドバイザーを1名雇用しました。

特に農業分野は指導において難易度が高く、品目・季節・気候条件・作物の成長段階に応じて、使用する種類や商品、使用時期の判断は難しく、新薬情報、混用する際の薬剤の効き目や、散布方法、適正使用に関するアドバイスなど、精度の高い指導は農業所得拡大のために不可欠です。

近年、若手職員・女性職員が営農経済指導渉外として任務する中で、専門員の導入は、生産者のニーズに応えると同時に、職員への技術・知識を伝承する重要な役割を担っています。管内では、現在、農業アドバイザーの他にも、果樹担当の長谷部秀明指導員、山本浩史指導員、花卉担当の高木和彦指導員が在籍しています。

ハウスすだち部会 奥田雅之部会長は、「適切な農業の使用によって、消費者の方々の安心・安全のため、また生産者の安心・安堵のために、これから農業アドバイザーを有効に活用していきたい。」と期待を込めます。

青協 第70回通常総会創立70周年記念大会



徳島県農協青壮年組織協議会は、6月6日、JA徳島中央会の主催で第70回通常総会をザ・グランドパレス徳島で開催し、青壮年部盟友や関係者ら約100名が出席しました。総会では、令和4年度事業報告や令和5年度事業計画など4議案を審議し承認されました。

令和5年度事業計画では、JAグループ・女性部等関係組織と連携し地域住民に対しての食農教育・直接販売等によりJA青年組織活動の魅力・意義の伝承や本県農業振興に寄与する活動の展開や、組織活性化に向け、盟友数拡大に取り組むこととしました。

また、記念大会では「声」年の主張」と題し、組織対抗大声大会が開催され、JA徳島市からは、青壮年部の多田浩章さん、能田義弘さん、鈴木章広さんが今年の目標などを発声しました。また、「JA青年の主張」では、枝川博嗣さんが登壇し「守りたい農業～繋ぐ未来～」について発表しました。

◀写真は、「JA青年の主張」で発表をする枝川さん

みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。
血液検査で赤血球、白血球、血小板のすべての血球成分が減少した状態を「汎血球減少」といいます。具体的な数値で申しますと、ヘモグロビン：男 12.0 g/dL 未満、女 11.0 g/dL 未満、白血球：4000/μL 未満、血小板：10 万 /μL 未満となります。汎血球減少症の自覚的徴候としては、貧血による動いた時の息切れ・動悸・めまい、血小板が減ることによる青あざ・歯肉出血・鼻出血・血尿などの出血症状、白血球のうち特に好中球が減ったことにより重症感染症を合併した場合には高熱の持続等が見られます。赤血球・白血球・血小板と3つの系統が絡み合うため汎血球減少では様々な病態がみられますが、特に緊急度が高い病態は、(1) 高熱を伴う高度の好中球減少、(2) 出血傾向の強い高度の血小板減少、(3) 血圧低下等の異常を伴う貧血などです。

- 高度な好中球減少があり、敗血症や肺炎などの重症感染症が合併していると、対応が数時間遅れることで敗血症性ショックや急性呼吸不全で急死したり、多臓器不全という取り返しのつかない状態に至ることがあります。
- 比較的若い方で高度の白血球減少があり、さらに高度の血小板減少のため重症の出血傾向がある場合には、特に APL (急性前骨髄性白血病) に DIC (播種性血管内凝固症候群) が合併していることによる活動性出血を想定して、極めて緊急に対応する必要があります。
- 貧血は好中球減少や血小板減少と比べると緊急性は低いものの、ショック症状や心不全を伴っている場合は緊急の対応が必要です。

汎血球減少は骨髄自体、あるいは骨髄以外の原因で重大な造血障害が起こっていることを示していますが、大きく分けると1. 骨髄における血球産生の低下と2. 末梢での血球の消費・破壊亢進が原因となります。

- 骨髄における血球産生の低下は、以下の原因が考えられます。
 - 造血細胞の障害：再生不良性貧血、薬剤性、放射線治療後、アルコール多飲
 - 造血細胞のクローン性異常：骨髄異形成症候群、発作性夜間ヘモグロビン尿症
 - がん細胞等の異常な細胞による骨髄浸潤：急性白血病、悪性リンパ腫の骨髄浸潤、がんの骨髄転移(骨髄癌腫症)、多発性骨髄腫、骨髄線維症、有毛細胞白血病、粟粒結核、サルコイドーシス
 - 血球成熟障害：ビタミン B12 欠乏症、葉酸欠乏症、銅欠乏症、アルコール多飲
- 末梢での血球消費・破壊亢進が原因のものとしては以下があります。
 - 免疫学的機序：SLE、シェーグレン症候群、薬剤性
 - 脾機能亢進症：慢性肝疾患 / 肝硬変、特発性門脈圧亢進症
 - 感染症：HIV、肝炎ウイルス、EB ウイルス、非定型抗酸菌症
 - 血球貪食症候群

また、赤血球、白血球、血小板のうちいずれか2系統あるいは1系統の血球の減少であっても、経過中に他の血球も減少して汎血球減少となることもあ

しいたけ
統一部会

6月27日、しいたけ統一部会総会が
南部営農経済センターで開催されました。

令和5・6年度 新役員

部会長	福山 雅夫	南部
副部会長	中川 浩樹	眉山
副部会長	坂口 太一	南部
会計	尾崎 慶太	佐那河内
監事	松長 護	眉山
監事	角谷 光彦	南部

令和4年度販売実績

- 数量 1,159 トン (前年比 83%)
- 販売金額 10 億 8,021 万円 (前年比 84%)
- 単価 932 円 (前年比 101%)

四国巡り気分味わって 4県うどん・ラーメンがセットに



6月より本所営農経済課や、各ミニ資材店舗で「四国巡りギフトセット」の注文を受け付けています。

四国4県それぞれのご当地麺が楽しめるセットになっており、徳島県はお馴染みの「さだぶつかげうどん」。香川県は、出汁にいりこをふんだんに使用した「伊吹讃岐うどん」。愛媛県は、伯方の塩を使用した「しまなみ鯛塩ラーメン」。高知県は須崎のソウルフード「鍋焼きラーメン」とバラエティー豊かです。1箱あたりすべて2食入りとなっています。販売価格は3,240円(税込)です。

理事会だより (令和5年6月16日)

協議事項

- (1) 行政庁提出業務報告書について【可決】
- (2) 令和5年度会計監査人の監査報酬について【可決】
- (3) 令和4年度末監事監査回答書について【可決】
- (4) 営業店システム移行に伴う窓口端末装置一式ならびにオープン出納機の導入について【可決】
- (5) 令和5年度徳島県農山漁村未来創造事業による第2期育苗施設工事計画及び育苗事業の強化について【可決】
- (6) 令和5年度徳島県農山漁村未来創造事業による佐那河内果樹選果場における共同冷蔵庫の機能強化について【可決】
- (7) その他

報告事項

- (1) 令和4年度内部監査(資産査定)の報告について
- (2) 債権回収について
- (3) 理事会決議事項処理状況報告
- (4) その他

(令和5年6月24日 総代会終了後)

協議事項

- (1) 令和5年度役員報酬(理事)の決定について【可決】
 - (2) 役員賠償責任保険の更新について【可決】
 - (3) みのり監査法人との監査契約締結について【可決】
 - (4) その他
- 報告事項
- (1) その他



島田清弁護士の無料法律相談

- 日時** 第3土曜日 9:00 ~ 12:00
- 申込先** 金融共済部へ事前に予約が必要
☎ 088-622-8003
- 場所** 本所1階金融相談室

賀上延啓税理士事務所の無料税務相談

- 日時** 8月8日(火)、22日(火)、29日(火)
9:30 ~ 15:00
- 申込先** 総務部へ事前に予約が必要
☎ 088-622-6335
- 場所** 本所1階金融相談室